# 令和5年度 教育部の重点課題

部長名 窪田 徹也

#### <全体方針>

丸亀市教育大綱に則り、すべての子どもが平等で安全に安心して教育が受けられる環境を整えるため、学校施設長寿命化計画に照らして計画的な施設整備を推進する。また、幼稚園等の統廃合に伴う整備を行う。学校現場では教職員の働き方改革を進め勤務環境を整えるとともに、地域とともにある学校づくりを目指して、各学校をコミュニティ・スクールとし、これまで以上に家庭・地域との連携事業を推進する。就学前教育・保育施設においては、待機児童解消のため保育士確保対策事業を実施するとともに、『第2期丸亀市こども未来計画』に基づき、施設の整備計画を進める。丸亀城跡及び快天山古墳の整備については、文化財としての保存活用を推進する。

#### <課ごとの指導方針>

#### (総務課)

学校施設については、長寿命化計画に照らして計画的に整備を進めていく。幼稚園等については、丸亀市こども未来計画に沿った統廃合に伴う整備を行う。放課後留 守家庭児童会は、子どもが快適で安全・安心に活動できる場を維持・向上していくため、受入れ環境の改善を図る。

学校給食については、地場産物使用の積極的な推進を図りながら、安心安全なおいしい給食の提供及び異物混入事故の徹底防止に努める。また、第二学校給食センターの施設、設備の整備計画と業務運営方針について検討を進めていく。

### (学校教育課)

各校コミュニティ・スクールとして、小中・地域連携教育の取組を核に、学校・家庭・地域の連携のもと、「楽しい学校・学級づくり」を推進するとともに、いじめ・不登校対策の充実に努める。その基盤となる教職員の勤務環境の整備に向け、学校教育サポート体制の充実や部活動の地域移行、小学校における教科担任制の推進など学校の業務の適正化・効率化を進め、教職員が児童生徒一人ひとりに向き合う時間を確保するなど業務改善に努める。また、GIGA スクール構想の実現に係る ICT 教育環境整備の充実を図りながら、学校での教員の指導力の向上と指導体制の充実を図る。

## (幼保運営課)

公立・私立の就学前教育・保育施設においては、待機児童解消のための保育士確保を最重要課題と位置付け、保育士の処遇改善や業務軽減などの保育士確保対策事業を実施し、待機児童の解消に努めるとともに、『第2期丸亀市こども未来計画』に基づき、各教育・保育施設の整備計画を進める。また、幼稚園・保育所・認定こども園の職員の合同研修、相互交流などの取組により、職員の資質向上と就学前教育・保育の充実を目指すほか、NPO等との協働のもと、発達障害児等の成長を支えるとともに、その保護者を支援する、

## (文化財保存活用課)

文化財の適切な保存と次世代への継承及び有効な活用を図る。史跡丸亀城跡については、崩落した帯曲輪・三の丸石垣では、解体・回収作業から復旧作業への転換期

を迎えるが引き続き事業を着実に進める。また、崩落箇所以外の石垣の変状調査や、レーザー測量による資料化を進めるとともに、石垣の変状原因の一つである雨水について、基本計画に基づき対策を講じることで、城跡全体の保全に努める。快天山古墳の調査・整備については、令和4年度の予備調査により日本最古級の石棺に新規のき裂が見られたことから、引き続き調査を行い、適切な保存整備に向けた方法を早急に講じる必要がる。

また、改正文化財保護法に基づく歴史的建造物の保存と活用を念頭に、延寿閣別館を宿泊施設に改修し、本物の体験を提供する体験型宿泊コンテンツ「城泊」を推進する。

資料館では、照明のLED 化工事を実施し、施設全館をLED 化することにより、省エネ及び温室効果ガスの削減を図り、ゼロカーボン化に取り組む。

	<del>수</del>	和5年度 各課の重点的取組				最終評価
課名(連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	総合計画 (教育大綱)	評価 (進捗結果)	所見
総務課	★学校施設の環境整備	●長寿命化計画に基づく施	○城東小学校改築に向	No. 4		○城東小学校は 10 月に実施設
	【重点プロジェクト】	設整備の実施	けた実施設計及び工事	(Ⅱ−9)		計が完了し、令和6年3月工事
		●安心して快適に学べる教	着手(令和5年12月工事			着手、令和8年1月に完了予定
		育環境の確保	着手·令和7年度完了)			
			○城坤小学校、城南小			○城坤小学校は12月工事着手、
			学校校舎の長寿命化改			令和7年9月に完了予定。城南
			修に係る工事に着手			小学校は令和6年3月工事着
			(令和7年度完了)			手、令和8年1月に完了予定
			○飯山北小学校、飯山		D	○飯山北小学校は健全度調査
			南小学校校舎及び屋内			及び長寿命化改修に伴う設計
			運動場の長寿命化改修			に着手。飯山南小学校は耐力度
			に係る設計を実施			調査を実施
			○綾歌中学校屋内運動			○綾歌中学校屋内運動場は 12
			場の改築工事に着手(令			月工事着手し令和7年6月に完
			和6年12月完了)			了予定
			○垂水小学校プール改			○垂水小学校受変電設備の移
			築に伴う受変電設備の			設等は計画どおり令和6年2月

			移設工事を実施			に完了
総務課	★待機児童の解消	●幼稚園・保育所・こども園	○(仮称)城乾こども園	No. 6		○(仮称)城乾こども園の工事
	【重点プロジェクト】	の統廃合に伴う整備	の工事の実施(令和6年	(Ⅱ−13)		は令和4年6月着手し令和6年
			3月完了)			2月に完了
			○(仮称)城東こども園		С	○(仮称)城東こども園の設計
			の設計に着手(令和5年			は6月に着手し令和6年3月に
			4月)			完了
総務課	★放課後児童対策の充	●快適で安全・安心な教室	○城東青い鳥教室新築	No. 8		○城東小学校改築に伴い令和 6
	実	の確保	(学校改築に伴う)	(-)		年3月工事着手、令和8年1月
	【重点プロジェクト】					に完了予定
			○城坤青い鳥教室新築			○城坤青い鳥教室新築工事は6
			(学校の長寿命化工事		С	月に着手し令和5年11月完了
			に伴う)			○飯山南小学校長寿命化改修
			○飯山南青い鳥教室改			の計画見直しのため、今年度は
			修設計 (学校の長寿命化			実施しない。
			工事に伴う)			
総務課	★学校給食による食育	●地産交流会の実施	○実施回数 12 回	No. 5		○実施回数 12回
	の推進	●有機給食の推進		(I-4)	С	○2 回実施
	【重点プロジェクト】			(I - 5)		(昨年12月と本年2月)
総務課	★第二学校給食センタ	●第二学校給食センターの	○施設の整備手法及び	_		○基本計画策定及び導入可能性
	一の基本計画及び施設、	施設整備基本計画及び運営	運営等の方針や基本計	(-)	С	調査業務を取りまとめた。開業時
	設備の整備・運営手法	等整備手法について検討	画の検討・策定			期は令和10年度に見直した。
学校教育課	★学校教育サポート体	●不登校の未然防止や早期	○不登校予測資料の積	No. 63		○不登校予測資料の積極的な活
	制の充実	対応に向け、報告様式やケ	極的な活用による対応	(I-2)	C	用や「いじめ等防止基本方針」に
	(いじめ・不登校対策)	ース会議の持ち方の見直し	の徹底(校長会で周知3			基づいた対応に向けて、校長会で
	【重点プロジェクト】	や改善	囯)			呼びかけを行い、不登校やいじめ

	(インターネットによ	●いじめの防止や早期解	○「丸亀市いじめ等防止			の未然防止や早期対応に努めた。
	る人権侵害対策)	決、スマートフォン等の適	基本方針」や「学校いじ			また、「不登校の手引き」を作成
		切な利用やインターネット	め等防止基本方針」に基			し、校長会等で説明するととも
		による人権侵害やゲーム依	づいた対応の徹底			に、動画を制作し、研修や不登校
		存など、子どもを取り巻く	(校長会で周知3回)			担当者会を開催するなど、新たな
		新しい課題に対応するとと	○端末導入に伴う情報			不登校対応にも取り組んだ。
		もに、各学校や関係機関と	モラル教育の推進(児童			○学校だけで解決が困難な事案
		の連携強化	生徒、保護者)			に対して、専門家を活用しながら
		●学校において解決困難な	○学校教育サポート室			丁寧かつ的確な対応に努めた。
		問題の解決に向けた支援の	専門家による相談活動			
		継続と充実	や助言の継続と関係機			
			関との連携強化			
学校教育課	GIGA スクール構想の推	●GIGA スクール構想におけ	○通信環境の検証・分析	No. 2		○小学校の大規模校及び中学校
	進	るWi Fi 通信に係る環境整	及びICT支援員の計	(Ⅱ-9)		の中規模校におけるローカルブ
	【重点プロジェクト】	備及び1人1台端末の授業	画的配置と運用	(Ⅱ−10)		レイクアウト方式の回線工事を
		における積極的活用	○こどもクラウドを活			実施した。
		●小・中学校児童生徒用端	用した教材の共有(財政			○こどもクラウドに「丸亀市自治
		末を活用した授業実践の推	課作成「こども予算書」			基本条例」を掲載し、中学校3年
		進に資する研修会の開催	の掲載など)		C	生で活用した。
			○ⅠCTの効果的な活		С	○夏季休業中に開発企業から専
			用法についての各種研			門講師を招聘し、Google アプリ
			修会における協議と周			活用研修会を開催した。
			知			
			○授業が分かると感じ			○楽しい学校・学級づくりアンケ
			る児童生徒の割合			ートを実施した。(11月実施)
			(アンケートの肯定的			(肯定的回答:小学校 92.3%,中

			回答:小学校90%、中学			学校 90.0%)
			校85%)			, , ,
学校教育課	★コミュニティ・スクー	●C・Sを活用した小中・地域	○各学校での学校運営	No. 1		   ○5月と2月に、市内全小・中学
(生涯学習課)	ルの推進	連携教育の推進	協議会の実施 (年2回以			   校で学校運営協議会を実施した。
	【重点プロジェクト】		上)	(Ⅱ−8)		学校運営協議会では、学校の現状
			○学校と地域の連携活			や課題を報告し、具体的な教育活
			   動(行事)の開催(学期			動について協議した。
			に2回以上)		С	○学校と地域の連携活動につい
			○学校運営協議会での			ては、野菜づくりやミシンボラン
			活発な意見交流			ティアなど、各学校の特色を生か
			○「丸亀市コミュニテ			した活動を行った。
			ィ・スクールの現状」の			○1月の市の広報紙に丸亀市の
			周知			現状を掲載した。
学校教育課	★部活動の地域移行の	●丸亀の実態に応じた段階	○検討委員会(仮称)の	_		○5 月と 11 月に部活動地域移行
	推進	的地域移行	立ち上げ、開催 (年3回	(-)		検討委員会を開催した。
		・生徒にとって有意義な	以上)			○○ロードマップは、国や県の動
		活動	○推進計画 (ロードマッ			向を踏まえ、11月に策定。(4
		・教師の働き方改革につ	プ) の策定			月に市教委より保護者に周知予
		ながる活動	○部活動コーディネー			定)
		・持続可能な地域移行	ターの配置		С	○部活動コーディネーターを中
		●スポーツ関係団体・関係	○合同部活動の推進			心に、希望校への部活動指導員を
		課等との連絡体制構築	○学校が希望する部に			配置し、合同部活動や拠点校部活
			対して国や県の補助事			動を推進した。(合同部活動:綾
			業を活用した部活動指			歌中と飯山中の野球部。拠点校部
			導員の配置			活動: 西中女子ソフト部。綾歌中
						吹奏楽部等で部活動指導員を配

						置)
学校教育課	★地域学校協働活動の	●地域とともにある学校づ	○地域コーディネータ	1-2-1		○市内全中学校群で、小中・地域
(生涯学習課)	推進	くりに向け、家庭・地域連携	ーによる地域人材の集	1-3-2		連携協議会を6月と2月に開催
		事業の推進	約と学校支援の推進	1-6-3		した。
			○各中学校群での連携協	(I-1)		○小中・地域連携教育アンケート
		●小中・地域連携事業の充	議会の開催(年2回)〇	(I-5)		を見直し、今年度は連携実施前の
		実	アフターコロナにおける	(Ⅱ−8)	С	6月にアンケートを実施し、実態
			連携活動の促進	(III—14)		把握とそれを受けての交流活動
			○小中・地域連携教育ア			の計画を行った。2回目のアンケ
			ンケートの見直し、結果			ートは、交流活動終了後の1月に
			の考察、それを受けての			実施し、来年度に向けての改善の
			改善			資料とした。
学校教育課	★特別支援教育の充実	●児童生徒の個に応じた配	○継続した支援が行え	19-3-2		○就学に関する幼保こ小連絡会
		慮や支援に向け、校内支援	るよう学年・学校・関	19-9-1		を例年通り、1月~2月にかけて
		体制の更なる充実	係機関との連携の強化	(I-1)		行った。園長・所長会 (1 月実施)、
			や特別支援教育支援員			副園長合同研修会や小中教頭会
			配置の見直し			などで、特別支援教育や就学につ
			○巡回カウンセリング			いての研修会を実施した。また、
			を実施し、教員や保護		C	来年度の特支支援員の配置に係
			者が専門家に助言を得			る学校訪問を1月に行い、学校の
			る機会の確保(各校年4			現状を踏まえて来年度の配置を
		●支援を要する児童への対	回、追加可能)			検討した。
		応について理解を深めるた	○特別支援教育コーデ			○前期 (5月~7月) 及び後期 (9
		めの特別支援教育に関する	ィネーターや特別支援			月~2月)の巡回カウンセリング
		研修会の開催	教育支援員を対象とし			を各校2~3回実施した。継続し
			た研修会の開催 (年2			て個別相談が必要な場合は、まる

			回)と研修内容の充実			育サポート「あだぁじぉ」につな
						いでいる。
						○特別支援教育支援員を対象に
						した研修会を4月4日に、特別支
						援教育コーディネーター等関係
						教員を対象にした研修会を 7 月
						24 日に実施した。
学校教育課	★教職員の働き方改革	●学校の業務の適正化や効	○時間外勤務時間が、	No. 3		○校長会等で教職員の働き方改
	の推進	率化(業務改善の推進)	原則として月45時間、	(II-11)		革について、好事例を紹介するな
	【重点プロジェクト】	●学校訪問時に、働き方改	年間360時間を超える教			ど意識向上につながる啓発や、時
		革の取組に関するヒヤリン	職員をゼロにする			間外勤務が80時間以上の教職員
		グの実施	○教職員の時間外勤務			に対して、積極的に声掛けなどの
		●留守電メッセージ対応時	時間の削減率		С	対応を行うよう周知した。
		間の延長(夜間・休日の電	(R2年度より5%)			○留守電メッセージ対応時間の
		話対応時間の縮減)				延長や健康観察アプリの導入な
						どにより、11 月の教職員の時間
						外勤務時間の削減率は、R2年度
						より 20.5%削減した。
学校教育課	★小児生活習慣病対策	●関係各課と連携し、より	○事前指導・事後指導	No. 42		○1学期に小学校で小児生活習慣
	の推進	よい生活習慣について親子	の徹底	(I-4)		病予防健診を実施した。2学期は
	【重点プロジェクト】	で考えるきっかけづくりの	○事後指導用教材の作			中学校で実施した。
		推進	成・実施			○2次健診の受診率を向上させる
			○2次検診の受診率の向		С	ため、小学生対象の事後指導教材
			上(小中学校とも70%			を作成し、モデル校の城北小学校
			以上)			で授業を実施し、各校に周知し
						た。

<u> </u>	人口立仏なるとになり		O.Ol - Attento	1 @ 1		
学校教育課	★児童生徒の非行の未	●学校の下校時刻および放	○パトロール実施時の	1-6-4		○コロナ禍が落ち着き、年度当初
少年育成センタ	然防止及び安全指導	課後の時間帯に合わせたパ	児童生徒への声かけ			から補導員を伴った補導活動が
<u> </u>		トロール	(「愛の一声」2,500人/			実施した。(「愛の一声」3757人)
		●非行の抑止力としての積	年)			○不審者情報が少なかった昨年
		極的な声かけ				度に比べ、今年度はさらに件数が
		●自転車の並進等に対する				少なかった。(15件)
		積極的指導				○事案発生に伴う該当箇所の巡
	★不審者情報に対する	●情報配信と、不審者事案	○メールやFAXを用いた			回を継続して実施した。
	適切な対応	発生時間帯に合わせた現地	不審者情報配信			○市広報 5 月号で SOS 看板の設
		パトロールの充実	○日を替え、複数回の			置を呼びかけた。
		●こどもSOSプレートの管	現地パトロールを実施			○育成だより「かめっこ」では、
		理と設置呼びかけ	○市広報による、こど			ゲーム依存に陥らないためのス
			もSOSプレート設置の呼		С	マホとの付き合い方など、記事の
		●青少年健全育成や保護者	びかけ			充実に努めた。(4・9・1 月発行)
	★青少年健全育成の推	啓発のための各種活動(育	○育成だより「かめっ			○市広報では「市青少年健全育成
	進と、それに伴う保護者	成だより発行、不良図書等	こ」記事の一層の充実			月間」などを掲載した (7・10・11
	啓発	回収、いじめや万引き防止	(年3回発行)			月号)
		のキャンペーン等)	○市広報への保護者啓			○青少年健全育成推進協議と少
		●関係団体と連携した	発記事の定期的な掲載			年を守る会の合同研修会(7月7
		健全育成活動				日)、丸亀市青少年健全育成講演
		●多様な方法を用いた	○健全育成講演会·研			会 (12月4日) を開催した。
		相談窓口の周知	修会の実施(年2回)			○相談窓口について、市PTAメー
	★相談活動の充実		○カード、ちらし、メ			ルや、チラシやカードを小中学
		●健全育成をめぐる課	ール等を用いた周知			校、高校やコミュニティ等関係機
		題についての研修会に	(年6回)			関に配布し周知に努めた。(7回)
	★職員研修の充実	参加(オンライン研修	○各自(所長及び専門			○所長及び専門指導員が四国地

		を含む)	指導員)年間1回以上			区少年補導センター連絡協議研
			の研修会参加			修会に参加した。また、担当分野
						に応じて、発達障害・知的障害の
						子ども支援研修(8月)や子ども・
						若者育成支援研修会(1月)等に参
						加した。
幼保運営課	★待機児童の解消	●保育士の確保に向けた新	○公立園の保育業務の	No. 6, 7		○保育所入所受付の電子化を
	【重点プロジェクト】	規雇用と離職防止	改善	(Ⅱ−11)		導入した。
			○私立園に対する市単	(Ⅱ−13)		○私立園の保育士の賃金上乗
			独補助金による保育士			せ補助(一人あたり 3,000 円/
			の処遇改善			月)を継続して行った。
			○保育体制強化事業の			○私立園の保育支援者配置に
			活用による私立園の保		С	対して補助し、保育士の業務負
			育士業務の軽減			担の軽減に努めた。
			○修学資金等貸付制度			○修学資金貸付は昨年度と比
			の利用促進			べて増加し、16 件の利用となっ
		●一時預かりの実施箇所数	○待機児童となった子			た(昨年度比10件増)。
		の増	どもの一時的な受入れ			○飯山区域での新設1か所の実
						施に至っていない。
幼保運営課	★教育・保育施設の老	●『第2期丸亀市こども未	○中央保育所と西幼稚	_		○中央保育所と西幼稚園を統
	朽化等の環境整備計画	来計画』に基づき、園児の	園を統合したこども園	(Ⅱ−13)		合する城乾こども園は、予定
		減少や施設の老朽化等によ	の開設、土居保育所と城			どおり完成し、令和6年度に開
		る各教育・保育施設の移転	北こども園の統合、青ノ		С	園する。青ノ山保育所と城東
		改築や統廃合等に関する施	山保育所と城東幼稚園			幼稚園を統合予定のこども園
		設の環境整備方針を定める	を統合したこども園の			は、順調に設計が進んでい
			開設、栗熊保育所の民営			る。栗熊保育所は、民営化に

			Γ			
			化			向けてプロポーザル方式によ
						り公募し、運営候補者を決定
						した。
幼保運営課	★幼稚園・保育所・認	●『幼・保・こ』職員の合	○幼稚園・保育所・認定	1-1)-2		○衛生委員会での職場環境改
	定こども園の職員の交	同研修、公開保育等の相互	こども園における職員	(Ⅱ−13)		善等の研修や幼児教育ブロック
	流及び職員の資質向上	研修の開催	の資質向上と就学前教		С	会の研修などの機会を確保し、
	の推進		育・保育の充実			研鑽に努めた。また、公開保育
						等により相互の交流を図った。
幼保運営課	★幼児教育と小学校教	●校区の実情に応じた幼児	○校区における連携及	1-3-1		○丸亀市幼児教育·小学校教育
(学校教育課)	育の円滑な接続に向け	教育施設と小学校の相互理	び小学校スタートカリ	(II—8)		連絡研究協議会において、幼小
	ての幼小連携の充実	解研修や交流活動の充実	キュラムと幼児教育ア	(Ⅱ−13)		連携の研究発表を行った。校区
			プローチカリキュラム		С	における『幼保小の架け橋プロ
			の実践を通し、内容を			グラム』を推進し、アプローチ期
			検証			の教育実践の充実と幼小の相互
						理解を図った。
幼保運営課	★発達障がい児等支援	●NPO等との協働のも	○巡回カウンセリング、	No. 10		○教育・保育施設等へ巡回カウ
(子育て支援課、	の充実	と、発達障害児等の成長を	保護者相談活動、教職員	(I-4)		ンセリングを実施した。また、NP
福祉課、健康課、	【重点プロジェクト】	乳幼児期から青年期まで支	等の相談活動、研修機会	(Ⅱ−13)	С	Oとの協働のもと、発達障害児
学校教育課)		えるとともに、その保護者	の提供			等、及びその保護者や保育士等
		や保育者・教員を支援				の支援を行った。
文化財保存活用	丸亀城全体の石垣保全	●崩落箇所以外の石垣のレ	○石垣の測量業務委託	21-1-1		測量業務委託(R6.5月~R6.2月
課		ーザー測量を実施し、石垣	(令和9年度までの継続	(IV-18)		末完了)
		の資料化を行い、今後の修	事業)		С	
		復に活用する。				
文化財保存活用	丸亀城の石垣整備	●復旧整備事業では、石垣	※解体・回収	No. 52	_	○帯曲輪
課	【重点プロジェクト】	の解体・回収と調査を行い、	○帯曲輪	(IV—18)	С	・解体・回収(12月28日竣工)
	l	i e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	l	1	l	

				ı		
		得られた情報から復旧に向	・解体・回収 完了			・新石材製作等工事(9月12日
		けた設計と工事を行う。	(R5.9月)			発注済)
			※復旧			○三の丸・帯曲輪
			○三の丸・帯曲輪			•石垣復旧設計業務委託(11月2
			・石垣復旧設計 完了			日発注済)
			(R6.3月)			
文化財保存活用	快天山古墳の調査・整備	●石棺保存のための調査を	○1号石棺の予備調査	21-1-2		○1号石棺の予備調査を実施
課		行い適切な保存方法を策定	(令和5年度中)	(IV-18)		(R5.9月~R5.12月)
		するための資料を得る	○予備調査をもとに石			○第1主体の石棺のき損状況や
			棺のき損状況や埋葬施		C	埋葬施設の構築方法を確認。
			設の構築方法を確認し、		С	
			優先順位の高いものか			
			ら保存整備を行う。(令			
			和6年度以降)			
文化財保存活用	延寿閣別館を活用した	●延寿閣別館を宿泊施設と	○延寿閣別館の改修工	No. 39		○延寿閣別館の改修工事等
課	「城泊」事業の推進	して活用するためのハード	事(令和5年度中)	No. 53		・建造物の改修工事(R6.2月16
(産業観光課)	【重点プロジェクト】	及びソフト整備を実施す	○「城泊」実施に向けた	(IV—18)		日竣工)
		る。	各種体験メニュー等の			・庭園の改修工事 (R6.3月25日
			開発その他運営計画の			竣工)
			策定(令和5年度中)		С	○各種体験メニューの開発等
					C	・標準メニューを構築
						・オプションメニューを観光協
						会と調整中
						○関係例規の整備等
						・史跡等管理条例の一部改正と
						延寿閣別館城泊施設条例の制定

						・指定管理者の指定
						丸亀市観光協会を指定
						・PR 動画の作成(観光協会)
文化財保存活用	資料館施設照明のLED化	●照明の LED 化工事を実施	○施設全館をLED化する	_		7月末までに設備設計が完了
課		する。	ことにより、省エネ及び	(-)		3月 LED 照明改修工事完了
			温室効果ガスの削減を		С	※R5.12.1からR6.2.29まで休館
			図り、ゼロカーボン化に			し、R6.3.1より開館
			取り組む。			